

## 男性相談事業【京都府】

### 地域の実情と課題

男女共同参画の意識が高まる中、男性の活躍の場を家庭や地域社会に広げ、男女共同参画社会を実現していく必要があるが、男性が男性らしさを求められることなどにより、家庭・地域社会で孤独・孤立に陥り、悩みを抱えるリスクがある。

### 事業の特徴

男性が家庭・地域社会で孤独・孤立に陥るリスクが増大していることから、男性のジェンダー問題に精通する男性相談員による相談窓口を設置し男性相談を実施した。

### 事業の効果

様々な世代の男性から多様な相談が寄せられた。男性のジェンダー問題に精通する男性相談員による専門性の高い相談を無料で受けることができると好評であった。当事業が家庭・地域社会等で悩みや不安を抱える男性への支援の役割を果たしたと考えている。

### 目的・目標

経済団体等と行政(京都府・京都市・京都労働局)の連携による「輝く女性応援京都会議」(女性活躍推進法に基づく協議会)を母体として、京都府の女性活躍の推進、男女がそれぞれ抱える様々な問題の解消へ向けた総合的取組を各団体と連携し実施する。

カウンセリング件数

目標:100件 → 実績:105件(達成度 105%)

### 連携団体

連携団体名:輝く女性応援京都会議(23団体)

京都府、京都市、京都労働局、京都商工会議所、京都商工会議所女性会、京都府商工会議所連合会、京都府商工会議所女性会連合会、京都府商工会連合会、京都府中小企業団体中央会、京都府中小企業女性中央会、一般社団法人京都経営者協会、一般社団法人京都経済同友会、公益社団法人京都工業会、京都府商工会女性部連合会、一般社団法人京都中小企業家同友会、日本労働組合総連合会京都府連合会、国際ソロプチミスト京都、国際ゾント京都クラブ、公益財団法人大学コンソーシアム京都、日本政策金融公庫、公益財団法人21世紀職業財団関西事務所、京都府男女共同参画センター、京都市男女共同参画センター

### 今後の課題

令和6年度に事業開始したばかりであるため、引き続き相談を実施していく。男性相談員による男性相談はニーズが高く継続が求められるが、相談事業実施のための財源確保が課題となっている。

## 事業の概要

○ ジェンダー平等の意識が高まる中、男性が家庭・地域社会で孤独・孤立に陥るリスクも増大していることから、男性のジェンダー問題に精通する男性相談員による男性相談を実施。

電話相談や面談によるカウンセリングの実施 [委託先: 京都府男女共同参画センター]

相談日(原則)

第1・3土曜日 13:00～16:50

第2・4火曜日 16:00～19:50

相談方法

電話・面接(予約制)

R6年度相談件数(実績) 105件